

社会福祉法人雲柱社 祖師谷保育園 2008（平成20）年度 事業計画

施設長、職員集団が変わって二年目にはいる。2008年度は主任二人制をとり、新しい体制になる。報・連・相をしっかりとってスムーズな業務遂行を目指していく。事業理念、保育理念をしっかりと基本におきながら「子どもにとってどうか」との視点に常に立ち、保育指針改定の学びも含め、保育内容を見直していきたい。特に園内研修では外部講師を招き、共通認識のできる学びをしていくと同時に、できるかぎり外部の研修にも参加し、職員の質の向上に力を注ぐ。

地域支援室の活用が二年目に入るが、まだ、十分な活用ができていない。地域のネットワークとつながりながら園開放、出前保育も含めて活用のありかたを見直し、地域のニーズに耳を傾け、私たちのできる子育て支援を探っていききたい。また、中学生、高校生の保育体験、ボランティアなどもできる限り受け入れ、次世代育成支援につとめたい。

新園舎での生活が一年たち、子どもたちは新しい環境にもなじみ生活している。より使いやすくしていくために予算を考慮にいれつつ、必要に応じて追加工事も発注し、より安全で快適な生活の場としての環境づくりを目指していく。

保育目標

神と人から愛されていることを知り、自分やまわりの人を大切にすること

- ① ありのままの自分が受け入れられ、自己発揮でき、考えて行動できる子ども
- ② のびのびとしなやかに、自分のからだを動かして遊ぶ子ども
- ③ 基本的な生活習慣が身につく、見通しをもってできることを自分でする子ども
- ④ さまざまな人との関わりを大切に、思いやりをもって共に生きる子ども
- ⑤ 自然や命あるものとの出会いを大切に、豊かに感じとり表現する子ども

1 施設運営

(1) 実施事業

ア 特別保育等

- ・ 零歳児保育特別対策事業実施（零歳児取扱人員：9名）
- ・ 産休明け保育実施
- ・ 延長保育事業（2時間延長）
- ・ 障害児保育事業実施（2名）
- ・ アレルギー児に対する代替食実施

イ 地域子育て推進

- ・ 中高生の育児体験受入れ
- ・ 出前保育
- ・ 年末保育 12/29～12/30実施予定
- ・ 保育所体験

(2) 児童の処遇

ア クラス編成 認可定員 108名

クラス名	年齢	保育士数	園児数	障碍児数	備考
うさぎ組	0歳	3名	9名		*看護師
あひる組	1歳	3名	14名		
はな組	2歳	3名	17名		
つき組	3歳	2名	20名		
ほし組	4歳	2名	24名	2名	
ゆき組	5歳	2名	24名		
	その他	2名			
合計		18名	108名		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 296日
25日	24日	25日	26日	26日	24日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	23日	26日	23日	23日	25日	

ウ 健康管理

健康診断

- 乳児 毎月 2回
- 幼児 年2回(5月、10月)
- 歯科検診 年1回(6月)
- 蟻虫卵検査 年1回(6月)
- 視力測定「4, 5歳児」(11月)
- 耳鼻科検診 年1回(5月)

エ 保 育

各組の保育目標

ゆき組(5歳児)の年間目標

- ①・様々な活動に取り組み、仲間に認められることによって自信を得、自己発揮する。
- ②・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
- ③・健康、安全に必要な基本的な習慣や自主・自律の態度を身につけ、理解して行動する。
- ④・様々な事物や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。
 - ・年齢や様々な人とかかわる中で、それぞれの違いを認め合っていけるようにする。
 - ・人の話をよく聞き、自分で考え、自分の意見を相手あるいは集団の中に伝えられるようになる。
- ⑤・自分のもつ好奇心や知的探求心を動かせることにより、考える力が育ち、表現力が豊かに

なり感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して表現する。

ほし組（4歳児）の年間目標

- ①・一人ひとりの子どもの要求を十分に満たし、情緒の安定を図る。
- ②・友達と遊ぶことの喜びや楽しさを感じ、集団で活動することを楽しむ。
 - ・意欲的にいろいろなことに挑戦し、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ③・健康、安全などの生活がわかり基本的な習慣を次第に身につける。
- ④・人に話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ⑤・自然や身近の事がらにふれ、驚いたり、感動したりして関心が深まる中で、そのことを表現しようとする。

つき組（3歳児）の年間目標

- ①・生活が自立してくることで自信もち、自分のやりたいことが実現できるようになる。
- ②・外遊びを十分にするなど遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
- ③・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等の生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
- ④・自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、一緒に遊ぶ喜びを知る。
- ⑤・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づき感性を豊かにもつ。

はな組（2歳児）の年間目標

- ①・たくさんの自己主張や思いの表れを大人に受け止めてもらうことで、安心して気持ちを出せるとともに、自分の気持ちを切り替えられるようになる。
- ②・体を動かすことが楽しくなり、いっぱい遊ぶ。
- ③・簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ④・保育士を仲立ちとして生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
- ⑤・大人やまわりのことに興味をもち、みたく・つもり遊びを通してイメージを豊かに広げていく。

あひる組（1歳児）の年間目標

- ①・一人ひとりの子どもの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ②・保育士にも見守られながら、様々な生活、遊びを通して、探索活動を十分に行い体を動かすことを楽しむ。
- ③・安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄等を自分でしようとする気持ちが芽生える。
- ④・安心できる大人に見守られ中で、他の子どもにも関心をもち、関わろうとする。
- ⑤・身のまわりの様々なものを見たり、いじったり、身のまわりの自然や事象に対する好奇心や関心をもつ。

うさぎ組（0歳児）の年間目標

- ①・一人ひとりの子どもの甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ②・安全で活動しやすい環境を整え、姿勢を整えたり、移動したりして、いろいろな身体活動を十分に行う。
- ③・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め快

適な生活ができるようにする。

- ・一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。
- ・個人差に応じて離乳を進め、いろいろな食品に慣れ幼児食への移行を図る。
- ④・優しく語りかけたり、発声や喃語に応答し、発語の意欲を育てる。
- ⑤・聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手指の機能を促す。
- ・安心できる人的物的環境のもとで絵本や玩具、身近な生活用具などを、見たり、触れたりする機会を通して、身の回りのものに対する興味や好奇心の芽生えを促す。

主な行事予定	4月	入園式（2万円）
(行事費用)		3、4、5歳児親子遠足（25万）
	5月	各クラス懇談会
	6月	花の日、子どもの日、（3万円） 5歳児プラネタリウム（1万5千円） プール開き
	7月	一年生キャンプ（3万円） お泊まり会（4万円） 夕涼み会（16万円）
	8月	卒園生遊ぼう会（4万円）
	9月	個人面談開始
	10月	運動会（15万円）
	11月	そしがや祭り（20万） 一週間縦割り 収穫感謝祭・会食
	12月	クリスマス会（25万円）
	1月	餅つき ほのぼの会（3万円）
	2月	5歳児観劇（6万円） 各クラス懇談会
	3月	お別れ会、卒園式（40万円）
月例行事		誕生会（5万円） おにぎりの日（年3回 はな組以上）

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 4 回
栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

非常災害時の避難訓練
引き渡し訓練の実施（9月）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	2名
保育士	14名
調理員	4名 (栄養士含む)
看護師	1名
嘱託医	1名 (非常勤)
音楽講師	1名 (非常勤)
臨時職員、パート職員	17名

イ 健康管理

健康診断 年 1 回 (6月)
細菌検査 年 1 2回
全職員及びパート職員毎月 1 回

ウ 会議

- | | | | |
|---------------|--------|--------------|--------|
| ・職員会議 | 毎月 1 回 | ・主任会 | 毎月 2 回 |
| ・幼児打ち合わせ | 毎月 2 回 | ・乳児打ち合わせ | 毎月 2 回 |
| ・各クラス打ち合わせ | 年 6 回 | ・食事打ち合わせ | 毎月 1 回 |
| ・行事前打合せ会 (随時) | | ・反省会 (年 2 回) | |
| ・新年度打ち合わせ | | | |

エ 研修計画 (研修費用)

- ・園内研修 (15 万円)
- ・法人内研修 (10 万円)
- ・民間保育園連盟研修 (10 万円)
- ・その他の研修 (60 万円)

オ 退職・福利厚生

社会福祉・医療機構 退職共済制度加入
東京都社会福祉協議会 従事者共済会加入
財団法人雲柱社 福利厚生センター加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

- ・小口現金出納事務、・実費徴収事務
- ・労務管理 (出勤管理、有給休暇管理 等)

イ 児童処遇事務 (保育、給食、健康管理)

- ・保育指導計画等の作成
- ・給食献立表等の作成

- ・健康診断記録表等の作成

(2) 設備関係

- ア 固定遊具の設備点検（点検費用）

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定（購入予定費用）

- ・もちつき用品（杵・臼 10 万）
- ・物置（8 万）

- イ 保育用品購入予定（購入予定費用）

- ・クラス用遊具、環境整備用品（60 万）

- ウ 給食用品購入予定（購入予定費用）

- ・食器類（10 万）

- エ 固定資産物品購入予定（購入予定費用）

- ・テラス用日よけ（30 万）

(4) 災害対策

- ア 避難訓練

毎月 1 回

- イ 防災設備の点検委託

年 2 回（内、届け出 1 回）

- ウ 非常食糧の備蓄

○（全園児数＋全職員数）× 3 食 ×（1、5 日）分

3 地域社会との連携

- ・烏山地域子育て支援の「保育ネット烏山」に参加。
- ・トライアングルフェスタに参加したり、児童館懇談会に情報交換の場として参加。
- ・民政委員の方と相談しながら、一人暮らしのお年寄り宅を訪問する。
- ・地域子育て室を週二回地域の子育て中の親子に開放する。